

**C**ケーブル  
**A**テレビ  
**TV** デジタル 12ch デジアナ 2ch

**いなば** ひよんひよんネット

《11月の番組ガイド》

鳥取市広報番組

**とっとり知らせたい!**  
TOTTORI SHIRASETAI!

市民と行政がつながるTV「とっとり知らせたい!」。さまざまな情報をお送りしています。みんなの「知らせたい!」情報も待っています。

【放送】毎週金・土

カニシーズン到来!鳥取の旬の情報をたっぷりお伝えします。「とれたてグルメ」は新そば、各地のジオスポットを訪ねる「ジオたび」も必見!そのほか、ワールドちゃんぽんクラシックや木のまつり、鳥取JAZZなどイベント情報も満載です!!facebookページ「とっとり知らせ隊」にも注目♪

みやっち えりっち

静止画文字情報  
『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土

いなばひよんひよんネット  
自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木  
各地で行われる収穫祭やブロッコリー、梨など旬の農産物の収穫、栽培情報などをお伝えします。

地域情報番組『とっとりウォーキング』【放送】毎週日・月  
公民館まつりや収穫祭、ウォーキングなど市内各地区で行われる行事や作品展などを紹介します。

生活情報番組『ひよんひよんワイド』【放送】毎週火  
子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題、また講演会やイベントの模様をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月  
ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

122ch (第2放送)  
週替わりでリクエスト番組やイベント番組を再放送。また、テレビでしゃんしゃん体操を毎日放送中!  
番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください!  
いなばひよんひよんネット TEL 0857-22-6111  
※放送予定は予告なく変更することがあります。  
番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。  
<http://www.inabapyonpyon.net>



天体観察から一夜明けて、いよいよモデルロケットの打ち上げです。ロケットに火薬を詰めて発射台にセット。「5、4、3、2、1、0!」子どもたちの元気なカウントダウンからロケットは空高く飛んでいきます。勢いよく飛んで行く

### 新しいことにチャレンジ

ロケットを見て、保護者も一緒にになって楽しんでいます。

分団の結成から今年は節目の20年。中学生や高校生の団員も多くなり、「これまでいろいろな活動をしてきたが、若干マンネリ化してきた」小学生向けの内容だと物足りない言います。これまで、天体観察や全国大会も開催される水口ケットコンテストへの参加が活動の中心でしたが、子どもたちの希望を聞き、リ

ダーが話し合って、子どもたちが興味を持つてくれるような新しい活動を考えています。

今回の宿泊活動では、中学生以上の団員を対象に、天体望遠鏡と市販のカメラを使った銀河の撮影会を行いました。「こんなにきれいに撮れてびっくりした」「もっといろいろ撮りたい」子どもたちの好奇心はとどまるところを知りません。

また、さじアストロパークでの活動以外にも、今年11月30日に種子島で「はやぶさ2号」の打ち上げが予定されているため、希望者で見学に行

### 子どもの成長が楽しみ

くことも検討しています。

「大人が子どもたちに与えられるのはきっかけだけ。その中で、宇宙や科学の分野に進んでくれる子がいたら」と織部さん。高橋さんも「小さくまともらずに、大きく広い考えを持ってほしい」と、子どもたちの成長を楽しみにしています。

「心の中に宇宙を!」分団の活動を通して、子どもたちは宇宙のような壮大な夢を抱き、輝き続けることでしょう。



## YAC鳥取アストロ分団

アストロ分団は、1994年のさじアストロパークのオーブンと同時に、全国65番目の分団として活動を始めました。現在の団員は小学生から高校生までの男女39人。さじアストロパークで開催される星・月まつりへの参加、天体観察や団員の親睦を深めるための宿泊活動(年2回)などを行っています。

### 親子で楽しむ

9月20日から21日にかけて、宿泊活動「天体観察をしよう」が行われました。さじアストロパークに集まつたのは、団員と

# シリーズ 元気です

152

## さじアストロパーク から世界へ ~心の中に宇宙を~

### 宇宙や科学を体験

鳥取市佐治町にあるさじアストロパーク。豊かな自然に囲まれ、晴れた日には満天の星が観察できるこの場所で活動しているのが、YAC鳥取アストロ分団です。

YAC(日本宇宙少年団)は、

宇宙や科学をテーマに、体験・体験型学習を通じて未来を担う青少年を育成することを目的として1986年に設立され、全国各地に約140の分団が組織されています。



その保護者合わせて32人。分団事務局の織部隆明さんから説明を受けた後、班に分かれて打ち上げるモデルロケットと組立説明書。子どもたち用意されたのは火薬を使用して打ち上げるモデルロケットは、説明書を見ながら自分でアストロパークで開催される星・月まつりへの参加、天体観察や団員の親睦を深めるための宿泊活動(年2回)などを行っています。

たがはしまさや  
リーダーの一人、高橋昌也さんは7年前から夫婦そろって子どもと一緒に参加しています。「最初は単に親として子どもを連れてくるだけ」でが声をかけます。リーダーの一人、高橋昌也さんは7年前から夫婦そろって子どもと一緒に参加しています。「最初は単に親として子どもを連れてくるだけ」で



子どもたちはロケット製作や星座観察に夢中です